

## 第3学年

# 話すこと・聞くこと

相手の一番伝えたいことをとらえ、考えの共通点・相違点を見つけながら話し合うこと

### つまずきの実態

～こんな児童の姿が見られませんか？～

互いの考えの共通点・相違点を的確に見つけられないために、意見がまとまらない。

【学校生活について幼稚園児に知ってもらうため、説明内容を話し合う場面】



ぼくは、本の借り方について説明したらいいと思います。

わたしは、どんな本があるか説明したいです。

わたしは、どうやって本を借りるかを教えてあげたいです。

「言い方の違い」と「考えの違い」との区別がつかず、考えが共通している意見でも、別の意見として扱っている。

### 実践の概要

単元名

幼稚園さんに学校生活の様子をつたえよう

『つたえよう、楽しい学校生活』光村図書

目標 互いの考えの共通点・相違点を見つけ、それをいかして合意形成の話し合いを行うことができる。

- 内容
- ・上手な話し合いの仕方をまとめる。
  - ・話し合いを行い、より上手な話し合いになるよう見直しをする。
  - ・見直しを受けて再度話し合いを行う。
  - ・話し合ったことをもとに発表会を行う。

### 学習内容の系統と各学年に見られるつまずき

| 学習内容（単元名） |   | つまずきの実態                                |
|-----------|---|--|
| 第6学年      | 立場を明確にして主張し合い、考えを広げる討論をしよう              | 話し手の意図をとらえながら聞き、話の展開に沿って、助言をすることができない。 |
| 第5学年      | 田鶴野小を良くするために提案書を書こう                     | 話し合う場面で、異なる意見を一つにまとめられない。              |
| 第4学年      | 大事なことを落とさない聞き取りメモ名人になろう                 | 話し手の伝えたい大事なことを聞き落とさず、工夫してメモすることができない。  |
| 第3学年      | 幼稚園さんに学校生活の様子をつたえよう                     | 互いの考えの共通点・相違点を的確に見つけられないために、意見がまとまらない。 |
| 第2学年      | つたえたいことが聞く人によくわかる「あったらいいな、こんなもの発表会」をしよう | 話し手が話した内容について、質問・アドバイス・感想が言えない。        |
| 第1学年      | きいて しらせよう                               | 大事なことを意識して聞き、そこから質問を見つけることができない。       |

### 単元末の目指す姿

- ・話し手の一番伝えたいことをとらえ、考えの共通点や相違点を見つけることができる。
- ・見つけた共通点や相違点をもとに合意形成や次の話題の提示を行い、話し合いにいかすことができる。

## つまづき解消に向けた指導の工夫 ①

### 話し合いの様子を客観的に見る活動を行う。

- 活動のねらい▶
- 考えの共通点や相違点を的確にとらえる。
  - 話し合いを行う上での、共通点や相違点を見つけることの必要性に気付く。

#### ここがポイント

- ①事前にモデルCDや教科書を用い、「上手な話し合い」として「考えの同じところや違うところをはっきりさせる」という方法を学習させる。
- ②考えの共通点や相違点が見つかったら、合意形成や次の話題の提示ができる。反対に、見つからないと沈黙が続いてしまったり、じゃんけんや多数決でしか決められなくなったりする。実際にこのような場面を客観的に見ることで、①で学んだ方法の必要性を実感させることができる。

### 授業の様子



シーンとしてしまったぞ。  
さっき〇〇さんと△△さんの考えが違ったから、そのことについて話し合ったらいいと思うな。

#### (期待される児童の姿)

客観的な立場をとることで、話し合いに参加しているときよりも落ち着いて意見を聞くことができる。そのため、的確に考えの共通点・相違点をとらえられ、その必要性に気付くこともできる。

## つまづき解消に向けた指導の工夫 ②

### 意見を表に整理しながら話し合わせる。

- 活動のねらい▶
- 考えの共通点・相違点を見つけて、話し合いにいかす。

#### ここがポイント

グループの代表が、話し合いの中で出た意見の「一番伝えたいこと」の部分を表に書く。他の意見が出た際に、表に書かれた意見と照らし合わせ、共通した考えか相違した考えかを判断して表に書き加えていく。頭の中だけでは整理が難しいことや覚えていられないことも、表を用いることでグループ全員が共有することができる。

### 授業の様子

| ⑤ | ④   | ③                               | ②  | ①  | 2  |
|---|---|---------------------------------|--|--|--|
|   | 図書<br>の<br>ル<br>ー<br>ル<br>を<br>教<br>え<br>る。 | 多<br>す<br>き<br>で<br>き<br>な<br>い | 本<br>の<br>し<br>ら<br>べ<br>の<br>い<br>を<br>せ<br>つ<br>め<br>い | 本<br>が<br>何<br>き<br>つ<br>あ<br>る<br>か<br>い<br>う | 本<br>の<br>か<br>り<br>方<br>を<br>せ<br>つ<br>め<br>い<br>す<br>る |

※学校生活について園児に知ってもらうため、説明する内容を話し合う場面

③で反対意見が出ているな。  
次は「本の種類を説明するかどうか」について話し合おう。

#### (期待される児童の姿)

意見が出る度にすでに同じ考えが挙がっていないか確認することで、共通点を見つけながら話し合うという意識が根付く。相違点がはっきりするため、次に話し合うことの話題提示にもつながる。